

# 50歳以上の方へ

たいじょうほうしん

## 带状疱疹ワクチン予防接種費用助成のお知らせ

### 带状疱疹ってどんな病気？

子どものときに感染する水ぼうそうのウイルスが原因で、治ったあともウイルスが体内に潜伏し、加齢、疲労やストレスなど免疫力低下によって带状疱疹を発症します。（50歳代から高くなり、80歳までには約3人に1人の方が発症すると言われています）発症すると、体の左右どちらかの神経に沿って、痛みを伴う赤い斑点と水ぶくれが带状に生じます。50歳以上の約2割は長い間痛みが残る带状疱疹後神経痛（PHN）になる可能性があります。

带状疱疹になりにくい体づくりのために、食事のバランスや、しっかり睡眠をとるなど、日ごろから体調管理に心がけ、免疫力を低下させないことが大切です。



### 助成回数や助成金額等について

ワクチンの種類	接種回数	町内の医療機関	町外の医療機関	効果と副反応
シングリックス (不活化ワクチン) 筋肉注射	2	接種費用 22,000 円の 1/2 を 2 回まで助成しま す	接種費用の 1/2 を 2 回 まで助成します (ただし 1 回の上限 10,000 円)	発症予防効果は約 10 年 間、85.6~91.3% (年毎 減少あり) と高いが注射部 位の腫れや痛みなど副反応 が強い
ピケン (水痘生ワクチン) 皮下注射	1	接種費用 8,000 円の 1/2 を 1 回助成します	接種費用の 1/2 を 1 回助 成します (ただし上限 4,000 円)	発症予防効果は約 50% と シングリックスより劣るが 副反応は少ない

- 対象者**
1. 設楽町に住民票登録がある
  2. 接種日に 50 歳以上である

**ご注意**・シングリックスは 2 か月（遅くとも 6 か月）あけて 2 回接種します。

- ・助成を受けるには事前申請が必要です。詳しくは裏面をご覧ください。
- ・インフルエンザのように毎年助成するものではありません。一生に 1 度です。
- ・带状疱疹ワクチン予防接種については、医師に相談しましょう！



# 事前申請の流れ

1. 医療機関で医師に相談



2. したら保健福祉センターで手続き

①接種券の申請

②接種券と予診票および町外の医療機関で接種する場合は請求書を受け取る

• 申請は本人または家族もできます

• 申請書はホームページにも掲載しています

• 申請書の提出は、したら保健福祉センター窓口、郵送またはFAXで受け付けています



3. 医療機関に予約をする



町内の医療機関

月新堂医院・伊藤内科・  
つく診療所



町外の医療機関



4. 接種

費用の全額を支払う

領収書・予診票をもらう



4. 接種

費用の差額分を支払う

5. 請求書を提出（シングリックスは2回目終了後）

したら保健福祉センターへ提出

（添付書類：領収書及び予診票）



6. 指定口座に接種費用の一部が振り込まれます

問い合わせ先【したら保健福祉センター】

〒441-2301

設楽町田口字向木屋4番地

電話 0536-62-0901

FAX 0536-62-0902